

第1回 住民説明会要旨

平成21年度、環境省は、北海道、網走市及び小清水町とともに、環境学習・保全調査拠点施設(仮称)の建設予定地を検討し、網走市北浜地区の白鳥公園隣接地を候補地として内定しました。

第1回目の住民説明会は、この建設予定地の地元にあたる北浜地区の方々を中心に開催し、御意見を伺ったものです。

開催日時等

平成21年12月21日(月) 15:00~16:30

網走市農村環境改善センター2階会議室

説明者

環境省釧路自然環境事務所 次長 則久雅司、野生生物企画官 山田雅晃、川湯自然保護官 平田愛子、黒江隆太
(他に北海道網走支庁環境生活課、網走市市民環境部が同席)

出席者

地域住民の皆様計17名

説明概要

1 涛沸湖において施設整備を行う背景

ラムサール条約への登録を機に、地元の網走市、小清水町からご要望をいただき、ラムサール条約の理念の3つの柱(①ワイズユース(賢明な利用)、②保全・再生、③交流・学習)を実現する拠点施設を涛沸湖において整備することとなった旨とそれに合わせた施設の機能(展示、観察、レクチャー、調査・研究活動の支援、傷病鳥獣の一時収容、地域やボランティア活動等への支援)を御説明しました。

2 北海道内における類似施設の紹介

環境省が北海道内で整備している他の類似施設の概要について御説明しました。御説明した施設は、厚岸水鳥観察館、宮島沼水鳥・湿地センター、クッチャロ湖水鳥観察館、北海道海鳥センター(羽幌町)、ウトナイ湖野生鳥獣保護センターです。海鳥センター以外の施設は、いずれもラムサール条約登録湿地に設けられている施設です。

3 涛沸湖における施設整備の内容

建設予定地を北浜地区の白鳥公園隣接地とした検討経緯と整備の概要、スケジュールについて御説明しました。

(1) 北浜地区の選定

涛沸湖一帯から5箇所の候補地を選定(4箇所が網走市内、1箇所が小清水町内)して比較検討し、電気、上下水道、道路のインフラが整備済みであること、

白鳥公園との連携した利用が可能であること、野鳥や湿地植生の観察が行いやすいこと、交通アクセスが比較的容易であることから、北浜地区の白鳥公園隣接地を選定したことを御説明しました。

(2) 施設の整備内容

施設の内容は、建物、園地、駐車場とその他付随する施設として、河川敷地内に設けることを全体のゾーニングイメージとともにお示しました。

(3) 整備にあたっての配慮事項

整備にあたっては、景観、野鳥の生息環境、ヒオウギアヤメや希少種の移植、自然エネルギーの利用といった環境面での配慮の他、地域の方々に有効利用していただくこと、白鳥公園の野鳥観察舎との連携を考慮することを御説明しました。

(4) 施設運営のイメージ

施設については、協議会方式による運営とすることなどを御説明しました。

4 今後の予定

今後の予定として、平成21年度に基本設計まで、22年度に実施設計と建築工事、23年度に展示工事と外構工事を予定していることを御説明しました。